

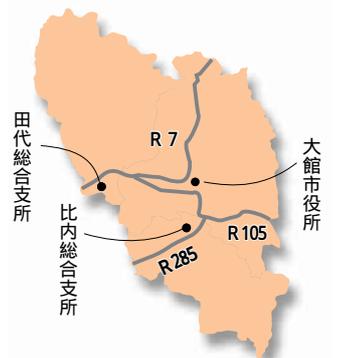


歩いて会って何でも話す
ワクワクの突撃取材

あつてグッド

39
市民の皆さんが
たくさん登場

今回訪ねたのは
「ゼロダテ/大館展2008」
H20. 9. 6・7 取材



米子さん(左)と健さん

9 月だというのに汗ばむほどの暑い日が続き、今年の天気はどうしちゃったんでしょうね。さて今回訪れたのは、大館地域大町地区の商店街で行われているゼロダテ大館展。ゼロダテは、市出身の3人の作家が立ち上げた企画で、大館を元気にしたいという思いで、さまざまな芸術活動を繰り広げています。今回の大館展は、全国から集まった作家が市内に滞在し、個性あふれる創作作品を作り上げたとか。さてどんな作品が展示されているのか、アートの世界へレッツゴー!

市

内出品者の展示会場をのぞき込むと、「どうぞ見ていって」と微笑んで案内してくれたのは、五十嵐米子さん(よねこ)東台4区)と三ツ倉健さん(けん)御成町3丁目。2人は同じ水彩画サークルに通うお友達。一緒に受け付けをするかたが急に来れなくなり、困った健

さんが、無理やり米子さんを誘ったそうです。前は水墨画を書いて

ただんだけど、色が付いたほうがきれいかなって。65歳の挑戦で年目なの、もう何歳が分かったたでしよう(笑)と健さん。以前はアートフラワーを教えていたという米子さんは、絵を書き始めて2年目。「簡単な気持ちで始めたけど、結構むずかしいのよ。サークルには、絵を書くよりみんなと一緒に茶を飲むのが楽しみで行ってるようなもの。話しが盛り上がるの」。今日も十分に盛り上がってますよ。今度お邪魔しようかなあ。

市

日での買い物帰りに立ち寄ったのは、木村茂昭さん(しげあき)柄沢(ふみこ)と文子さん(ふみこ)夫婦。出歩くときはいつも一緒なのだそう。毎日のように新聞に載っていたしね。やっぱり市民が関心を持つて見に来ないと」と茂昭さん。隣で文子さんが、でもスーッと見て終わりなの。私は知人の絵も飾ってあったから、ゆっくり見たいんですけどね。すかさず、いや、関心はあるんだけど、隅から隅まではねえ(笑)。とっても仲の良いご夫婦でした。



会話が弾む茂昭さん(左)、文子さん夫妻